

3. 熊本県・長洲町

1. 事業名

交通安全☆オールドマシンフェスタ in 金魚と鯉の郷 長洲

2. 主催

内閣府

交通安全☆オールドマシンフェスタ実行委員会

3. 共催

長洲町 荒尾市 荒尾警察署 荒尾地区交通安全協会

荒尾地区地域交通安全活動推進委員協議会 荒尾地区安全運転管理者等協議会

熊本県自家用自動車協会荒尾支部

4. 事務局

(一財) 日本交通安全教育普及協会

5. 実施会場

金魚と鯉の郷 多目的広場 (熊本県玉名郡長洲町大字長洲 3150)

6. 実施日時

平成 27 年 9 月 20 日 (日) 9:50~15:00

7. 参加者

長洲町 荒尾市の住民等 約 2,000 名

8. 進行スケジュール表

時間	内容
10:00~10:30	開会式・秋の全国交通安全運動出発式 主催者・来賓紹介・イベント紹介
10:30~11:00	熊本県警察音楽隊 演奏
11:15~11:45	キッズチアリーダー (藤山ダンススタジオチアリーダーチーム STAR☆S)
12:00~12:30	交通安全ビンゴゲーム (内閣府主催行事)
13:00~13:30	有明高等学校太鼓部 演奏
13:30~14:00	有明高等学校吹奏楽部 演奏
14:30~15:00	玉名太鼓 演奏
終日	交通安全体験: 展示ブース (内閣府主催) ①白バイ・パトカー展示 ②シートベルトコンビンサー体験 ③自転車シミュレータ体験 ④飲酒ゴーグル体験 ⑤反射材視覚体験
15:00	閉会行事 交通安全体験会終了

9. プログラム内容

(1) 開会行事

- ・主催者挨拶（長洲町長、荒尾警察署長、荒尾地区交通安全協会会長）
- ・来賓挨拶（県北広域本部玉名地域振興局長、荒尾地区地域交通安全活動推進委員協議会会長、福岡県警察本部大牟田警察署交通課長）
- ・内閣府紹介
- ・日程説明、諸注意

(2) 秋の全国交通安全運動出発式

(3) ステージアトラクション

- ①熊本県警察本部音楽隊演奏
- ②キッズチアリーディング
- ③有明高等学校太鼓部、吹奏楽部演奏
- ④玉名太鼓演奏

～以下内閣府主催～

(4) 交通安全ビンゴゲーム

(5) 交通安全体験・展示ブース

- ①白バイ、パトカー展示
- ②シートベルトコンビンサー体験
- ③自転車シミュレーター体験
- ④飲酒ゴーグル体験
- ⑤反射材視覚体験

(6) 閉会式

閉会宣言（荒尾地区交通安全協会会長）
閉会

10. 実施体制

本事業は、地域の交通事情・交通安全教育の実情等を考慮した内容とするため、日頃、地域において交通安全教育や交通安全活動等に携わっている関係者 16 名による実行委員会を設置し、プログラムの企画と運営にあたった。

* 実行委員会等開催経過

● 第 1 回実行委員会

期日：平成 27 年 6 月 10 日（水） 10：00～12：00

会場：荒尾警察署 3 階会議室

協議事項：趣旨説明

役員選出

イベント内容の説明

● 第 2 回実行委員会

期日：平成 27 年 7 月 27 日（月） 14：00～16：00

会場：荒尾警察署 3階会議室
協議事項：会場レイアウト（案）について
ステージイベント（案）について

●第3回実行委員会

期日：平成27年8月25日（火） 14：00～16：00
会場：荒尾警察署 3階会議室
協議事項：会場レイアウト（案）について
ポスターについて
スタッフの配置について

●第4回実行委員会

期日：平成27年9月15日（火） 14：00～16：00
会場：荒尾警察署 3階会議室
協議事項：最終確認

●第5回実行委員会（事後）

期日：平成27年12月4日（金） 13：30～14：00
会場：長洲町役場 2階応接室
協議事項：アンケート集計結果について
決算報告

11. 事後実行委員会総括（事務局まとめ）

●実施についての感想

- ・大変たくさんの来場者があり、多くの体験ができたことは大変効果的だった。
- ・スムーズな司会進行により、全体としてしまったフェスタとなった。
- ・秋の交通安全運動出発式、オールドマシンフェスタを同時開催したことにより、たくさんの方に交通安全を呼び掛けることができた。
- ・特に、白バイ、パトカーの展示、自転車シミュレーターは子供たちの興味を引いた。

●成果と課題・今後と取り組み

- ・入場者数の割に交通安全体験コーナーの集客が今一つだったので、より気軽に交通安全体験をしてもらう方法を考えていきたい。
- ・反射材視覚体験コーナーを少し奥まったところに設置したので、思いのほか体験者数が伸びなかった。
- ・警察、行政、関係団体との連携が何よりも不可欠である。
- ・交通安全教室だけでの教育には限界がある。家庭での交通安全教育、保護者向けの交通安全教室も必要であると考えます。

- ・国（内閣府）の支援をいただいたことは、今後の行政、地域、警察の連携にとってとても有意義である。
- ・交通安全キャンペーン等の開催は、地域住民の意識の啓発等において大変有意義であるが、一部の人へ負担を心配している。
- ・日頃から交通ボランティアに携わる関係者との人脈の構築、相互にアイデアを出し合い、目的達成のために情熱を堅持して向かうこと、そのような関係を築き、経験を積むことが必要である。